

## ごあいさつ

もうすぐ2期8年、みなさまのご支援で活動を続けることができました。ほんとうにありがとうございます。

年金の引下げ、米価の暴落、賃金カット・・・、なのに定率減税の廃止や年金保険料の引き上げ・・・その上にガソリン・灯油のあいつぐ値上げ。「本当に暮らしが苦しくなった」とみなさんの切実な声が寄せられています。庶民の暮らしを守ってほしい、という当たり前の願いに応えるどころか、自民・公明は大企業・大資産家優遇、アメリカ言いなりの政治を続けています。

国政でも町政でも、いまほど、みなさんの願いに応える議員の役割が強まっているときはないと思います。町議会は、この12月議会でも一般質問は私を含め2人だけ。「利権の温床になっている『同和行政』を終結すべき」といっかんして提案するのは私だけ。「論議の府・行政の見張り番・住民の代弁者」とはほど遠い現状です。

しかし、日本共産党の私一人であっても、この間みなさんの願いがいくつも実現しました。12年来県議と要望してきた県道の歩道が完成、横断歩道が設置されるなど、町民の願いにもとづいた正論を堂々と続ければ、政治は確実に動くことを私自身も実感しています。

ある町民の方が、私の議席を「甲良町になくてはならない議員」と過分の激励をいただき恐縮しています。庶民・高齢者にしわ寄せをおおいかぶせる政治を許さないために「いま、日本共産党のがんばりどき」だと思います。次期からは定数が2減で12議席になりますが、こんどは1名でも議案の提案権ができます。この『提案権』を大いに活用したいと思います。

すべての人々の命が等しくかがやく地域・社会づくりのため、まちがった政治にはハッキリとダメと言ひ、暮らしを応援する議会の役割をさらに強めるため力を尽くします。みなさまのご支援を心からお願い致します。

\*\*スペースに入らなければ、短くしてください。

もう少し、カットを試みましたが、自分では、なかなか切れません。

よろしくお願ひいたします。